

2011年12月22日

タイ洪水被災地への「オリセツト®ネット」寄付について

住友化学は、本年10月に発生したタイでの大雨による洪水被害に対する支援のため、10月に義援金3,000万円を寄付しましたが、このたび、追加支援として「オリセツト®ネット」(*) 6千張をタイ保健省に寄付することにいたしました。

現在タイの洪水被害に見舞われた地域では、水の溜まった場所が蚊の産卵場所となり、マラリア等、蚊が媒介する感染症のリスクが高まっております。住友化学は、マラリア予防の蚊帳「オリセツト®ネット」を製造し、アフリカを中心に供給するほか、2010年には、マラリア蔓延地域の一つであるハイチ共和国で発生したハイチ大地震への支援として5千張の「オリセツト®ネット」を現地に寄付するなど、マラリア予防に関する被災地支援を行っています。今回の「オリセツト®ネット」の寄付は、タイ現地からの要請もあり、被災地支援の一環として決定したものです。

住友化学は、被災地が一日も早く復興するよう祈念するとともに、今後もできる限りの支援を行ってまいります。

(*) 「オリセツト®ネット」：蚊帳を織る糸の原料の樹脂に防虫剤（ペルメトリン）が練り込んであるため、耐久性に優れ、洗濯しても有効成分がにじみ出てきて効果が持続する点が、世界保健機関（WHO）からも高く評価されています。

以上